

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 1

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 1

魅力と個性あふれる都市をつくります

1 蒲田駅周辺のまちづくり **実施計画事業**

ランドデザインの重点としている「駅を中心とする地区整備」は、「蒲田駅周辺再編プロジェクト」に基づき、公共基盤を再整備するとともに、周辺街区の建物更新を促進しながら、蒲田駅周辺の一体的なまちづくりを進めます。

<b>決算額</b>	330,389,140 円	<b>執行率</b>	91.86%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【蒲田駅周辺再編プロジェクトの推進】</b> ○蒲田駅西口駅前広場整備工事（その 2 及びその 3）が完了しました。 ○蒲田駅東口駅前広場予備設計委託及び地下自転車駐車場詳細設計委託が完了しました。			3
<b>【駅周辺街区のまちづくり】</b> ○地権者組織設立に向けた支援を行い、5 月 16 日に設立総会が開催されました。 ○駅周辺街区地権者を対象とする全体会・勉強会等を開催（10 回）しました。			3
<b>所管部</b>	まちづくり推進部、都市基盤整備部		

2 大森駅周辺のまちづくり **実施計画事業**

ランドデザインの公共基盤整備の重点としている池上通りの拡幅と、駅西口駅前公共空間の確保に向け、周辺街区も含めた駅西側の整備構想を策定し、実現に向けた取り組みを進めます。あわせて、臨海部への玄関口としてのまちの活性化を図ります。

<b>決算額</b>	62,035,788 円	<b>執行率</b>	93.15%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【駅西側周辺のまちづくり】</b> ○補助第 28 号線（池上通り）整備の事業化に向けて、関係機関との協議（東京都 9 回、警視庁 4 回、交通事業者等 8 回）を実施しました。 ○（仮称）大森駅西口広場の都市計画上の位置付けと管理方法について、庁内調整会議（6 回）を開催し、検討を進めました。 ○大森八景坂地区まちづくり協議会が実施した大森らしさの実現に向けた景観形成（デザインコード）素案の取りまとめ、素案に対する地権者約 400 人の意見集約等を支援しました。完成したデザインコードは、12 月に区長へ提案されました。 ○補助第 28 号線周辺の建替え動向について、把握に努めました。			3
<b>【駅周辺の活性化】</b> ○地域のまちづくり協議会等と連携し、大森駅東口駅前広場の再整備、機能強化を含む公共施設の再整備構想を検討しました。			3
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		

### 3 身近な地域の魅力づくり 実施計画事業

地域拠点である私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。京急蒲田駅西口周辺では、地元関係者の合意形成を図りながら駅前空間や住環境・商業環境を整備し、同時に公共自転車駐車場や帰宅困難者受入施設の整備を進めます。糀谷駅周辺では、子育て支援施設、高齢者支援施設、防災倉庫、公共自転車駐車場などの公益施設の整備を行い、災害に強い快適なまちづくりを進めます。

決 算 額	37,281,787 円	執 行 率	79.78%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【地域拠点駅周辺のまちづくり】</b></p> <p>&lt;大岡山駅周辺地区&gt;</p> <p>○区画街路第 1 号線について、未取得用地 3 画地の折衝を行いました。建物等の物件調査を実施したことにより、任意での契約締結に向けて進展がみられました。</p> <p>○区画街路第 1 号線その 3 区間について、修正設計委託及び整備工事その 2（街築）が完了しました。</p> <p>○区道 1-61 号線整備工事（電線共同溝）を実施しました。</p> <p>&lt;池上駅周辺地区&gt;</p> <p>○池上駅周辺の都市基盤施設整備の事業手法について、検討の深度化を図り、交通事業者、交通管理者等と協議を行いました。また、池上地区の現況把握とまちづくり協議会からの意見を踏まえて、課題等の整理を行い、まちづくり構想案の策定に向けて検討を進めました。</p> <p>&lt;多摩川線沿線地区&gt;</p> <p>○新空港線の整備を契機とする沿線まちづくりに関して、沿線駅周辺の課題整理を行い、まちづくりの方向性について検討しました。</p>			3
<p><b>【京浜急行線連続立体交差事業に伴う京急蒲田駅西口、糀谷駅、雑色駅の周辺地区のまちづくり】</b></p> <p>&lt;京急蒲田駅西口周辺地区&gt;</p> <p>○京急蒲田駅西口周辺地区では、駅前市街地再開発事業の市街地再開発組合清算の手続きが適正に行われるよう支援するとともに、再開発事業の事後評価を行いました。</p> <p>また、センターエリアで検討されている街区別の共同建替え事業が早期に進むよう、まちづくり活動団体を総合的に支援しました。</p> <p>&lt;糀谷駅周辺地区&gt;</p> <p>○糀谷駅周辺地区では、市街地再開発組合の解散及び清算の手続きが適正に行われるよう支援しました。</p> <p>&lt;雑色駅周辺地区&gt;</p> <p>○雑色駅周辺地区では、再開発事業に向けて地元地権者の合意形成を図るため、まちづくり活動団体を総合的に支援しました。</p>			3
所管部	まちづくり推進部、都市基盤整備部		

## 4 美しいまちなみづくり

各地域の特性に応じた自然や多様な歴史資源、生活文化を、まちづくりに活かすため、平成 25 年 10 月に策定した「大田区景観計画」に基づき、個性と魅力あふれる良好な景観形成を誘導します。

<b>決 算 額</b>	8,500,805 円	<b>執 行 率</b>	96.68%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【景観計画の推進】</b></p> <p>○大田区景観条例に基づく行為の事前協議は 134 件提出され、景観法に基づく行為の届出は 117 件、行為の通知は 11 件、行為の変更届出は 55 件、行為の完了報告は 41 件ありました。事前協議、行為の届出等の際し、大田区景観計画に定める景観形成基準に基づき、景観形成の誘導を図りました。</p> <p>○23 件の建築計画や外観の変更に対し、大田区景観アドバイザー会議に諮り、技術的助言を得ました。</p> <p>○第 2 回大田区景観まちづくり賞の募集を行い、応募総数 68 件のうち、街並み景観部門 6 件、景観まちづくり活動部門 2 件の受賞を決定しました。</p> <p>○景観に関する意識の啓発を目的として、景観パネル展を本庁舎にて開催しました。</p> <p>○大田区景観審議会を開催（2 回）しました。「景観資源【文化財等】の追加指定」「(仮称)洗足池景観形成重点地区の追加指定」「第 2 回大田区景観まちづくり賞の決定」を諮問し、「諮問のとおり定めることが適当である。」との答申を受けました。</p>			3
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		

## 5 区民との連携・協働の推進

良好な生活環境の向上を図るために行う建築計画等に関する開発調整や、地域のまちづくりに関する課題解決に向けた自主活動への支援を行います。

<b>決 算 額</b>	7,159,078 円	<b>執 行 率</b>	74.36%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【建築計画等に関する開発調整】</b></p> <p>○地域力を生かした大田区まちづくり条例第 22 条に基づく開発事業者との協議が成立し、協定を締結した件数は以下のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅宅地開発事業：11 件</li> <li>・集団住宅建設事業：90 件</li> <li>・一定規模建設事業：28 件</li> <li>・合計：129 件</li> </ul>			3
<p><b>【地域まちづくり支援事業】</b></p> <p>○地区まちづくり協議会（7 団体）にまちづくり活動助成金を交付し、自主的なまちづくり活動を支援しました。</p>			3
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 1	水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します
施策 2	快適な交通ネットワークをつくります

## 1 新空港線の整備推進 実施計画事業

国際化した羽田空港へのアクセス機能の強化は、区内の移動の利便性を向上させるとともに、人々の国内外への往来をさらに快適なものにします。JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ新空港線の早期事業着手に向けた取り組みを推進します。

決算額	1,001,799,984 円	執行率	84.75%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【関係者との協議及び事業推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新空港線の整備に関する関係者の合意に向けて、事業範囲・費用負担割合・都市計画事業への位置付け等について、区、東京都、鉄道事業者で協議（16回）を実施しました。</li> <li>○整備主体設立に向けて勉強会（20回）を実施し、整備主体の組織体制や資金計画等について具体的な検討を進め、一定の整理を図りました。</li> <li>○整備主体の設立については、関係者間の協議を重ねましたが、合意形成には至りませんでした。平成 30 年度中に、関係者間の合意形成及び整備主体設立を目指します。</li> </ul>			2
所管部	まちづくり推進部		

## 2 都市計画道路の整備 実施計画事業

主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。平成 28 年度から 37 年度までの概ね 10 か年で整備する路線を示した「東京における都市計画道路の整備方針」を、東京都及び関係区市町で連携・協働して策定します。

決算額	613,597,819 円	執行率	52.43%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【区画街路第 1 号線（大岡山付近）/用地取得・整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○区画街路第 1 号線について、未取得用地 3 画地の折衝を行いました。建物等の物件調査を実施したことにより、任意での契約締結に向けて進展がみられました。</li> <li>○区画街路第 1 号線その 3 区間について、修正設計委託及び整備工事その 2（街築）が完了しました。</li> <li>○区道 1-61 号線整備工事（電線共同溝）を実施しました。</li> </ul>			3
<p><b>【補助第 44 号線その 2（上池台付近）/用地取得・整備・測量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○買収用地の引渡し完了し、管理舗装を実施しました。</li> <li>○設計委託（環状七号線取付部）を実施しました。</li> <li>○平成 30 年度末の都市計画道路事業認可取得に向けて、警視庁等の関係機関との協議を進めました。</li> <li>○電線共同溝整備工事は、企業者による支障物移設工事が行われましたが、8月の集中豪雨の影響により当該工事の工程に遅れが生じたため、区が実施する予定であった特殊部の工事は平成 30 年度に実施することとなりました。</li> </ul>			2

<b>【補助第 43 号線（仲池上付近）/用地取得・整備・測量】</b> ○用地未取得の 13 画地中、2 画地を取得しました。 ○補助第 43 号線整備工事設計委託を実施し、経年変化した沿道の現状の高さを設計に反映することで、縦断線形等の問題を解消しました。	3
<b>【補助第 38 号線（羽田旭町付近）/用地取得・整備・測量】</b> ○用地未取得の 5 画地中、3 画地を取得しました。 ○補助線街路第 38 号線整備工事その 1（旭橋撤去）を実施しました。	3
<b>所管部</b>	都市基盤整備部

※【区画街路第1号線(大岡山付近)/用地取得・整備】については、施策 2-1-1「3 身近な地域の魅力づくり」の取り組み【地域拠点駅周辺のまちづくり】と同様の内容となります。決算額の重複を避けるため、当該経費は「3 身近な地域の魅力づくり」にのみ計上しています。

### 3 自転車等利用総合対策の推進 実施計画事業

「大田区自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画」を推進し、自転車等駐車場や自転車走行環境を整備します。区民や鉄道事業者など関係機関との連携を強化し、駅周辺の放置自転車を含め自転車等利用者に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上などの対策を図ります。

<b>決 算 額</b>	298,280,440 円	<b>執 行 率</b>	73.92%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【自転車等駐車場の整備】</b> ○京急線高架下自転車駐車場の整備 ・梅屋敷駅（有料制 駐車台数 481 台）、雑色駅高架下（有料制 駐車台数 1,390 台）及び糎谷駅前地下（有料制 駐車台数 840 台）の自転車駐車場の整備が完了し、供用を開始しました。 ○流通センター駅前自転車駐車場の拡張工事（無料制 90 台増）を実施し、7月に供用を開始しました。 ○蒲田駅西口御園自転車駐車場の一部（有料制 34 台）を機械化（電磁ロック式）し、7月に供用を開始しました。 ○区内 35 駅の自転車等駐車場等実態調査を実施しました。			3
<b>【自転車走行環境の整備】</b> ○自転車ナビマーク・ナビラインを以下のとおり整備しました。 ・大森地区 4,129m                      ・調布地区 3,930m ・蒲田地区 3,540m                      ・糎谷・羽田地区 2,295m ○平成 28 年度に実施した自転車走行環境整備の効果測定を行いました。 ○自転車推奨ルートにおける大田区道の測量・作図を行い、整備方針を検討し、関係機関と協議しました。 ○イベントでの発表や、小学生向けの利用啓発に用いるリーフレットを作成しました。			3

<p><b>【コミュニティサイクル事業】</b></p> <p>○おおた区報 5/21 号に、事業開始の情報を掲載しました。</p> <p>○試行事業の第二段階として、蒲田、大森、臨海部、糀谷、羽田地区や、馬込等の台地部を中心に、サイクルポートを 35 か所（自転車ラック 200 台分）設置しました。</p> <p>○「国際都市おおたフェスティバル in 「空の日」 羽田」（9/30）、「高齢者交通安全体験教室」（10/30）、及び「OTAふれあいフェスタ 2017」（11/4・5）において、リーフレット配布（計 2,550 部）や事業説明等の PR 活動を行いました。</p> <p>○都心 7 区が実施している自転車シェアリング「広域相互利用」への参加について、先行区と調整を進め、平成 30 年 4 月から品川区と共に参加することが決定しました。</p>	
<p><b>【ルール・マナーの教育・啓発】</b></p> <p>○自転車等駐車対策協議会を 2 回開催しました。協議会では、「とめる」「はしる」「まもる」の各取り組み状況の説明を基に、今後の展開や施策等について協議が行われました。</p> <p>○JR 蒲田駅東西口の自転車押し歩き推進エリア内において、推進員による啓発活動を実施しました。また、糀谷商店街及び萩中通り商店街の自転車押し歩き推進ゾーンで、街頭啓発を実施（11 回）しました。</p> <p>○区報に交通ルール・マナー啓発情報を掲載（3 回）しました。</p> <p>○多摩川河川敷清掃活動「グリーンアクションたまがわ」において、自転車事故に気を付けるよう声掛けしながら、啓発グッズ 500 個を配布しました。</p> <p>○大田区クリーンキャンペーンを実施（2 回、春：5 月 22～31 日・参加者延べ 326 人、秋：10 月 22 日～11 月 21 日・参加者延べ 609 人）し、放置自転車の防止及び喫煙マナーの向上を呼びかけました。</p>	3
<p><b>所管部</b></p>	<p>都市基盤整備部</p>

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 1	水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します
施策 3	潤いとやすらぎのあるまちをつくります

## 1 拠点公園・緑地の整備 実施計画事業

区内のみどりの総合的な機能拡充を図り、みどりの拠点を形成するため「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づく優先整備区域の早期整備や羽田空港跡地などの臨海部や内陸部での新たなみどりの拠点となる公園・緑地の整備を進めます。

決算額	834,663,016 円	執行率	88.80%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【田園調布せせらぎ公園】</b> ○都市計画事業 用地取得の進展を受けて、平成 35 年度末まで事業認可期間を延伸しました。 ○用地取得 地権者との折衝を行い、拡張整備用地 8,795 m <sup>2</sup> を大田区土地開発公社が代行買収しました。			3
<b>【佐伯山緑地】</b> ○都市計画事業 平成 30 年度末までの事業完了を目指し、引き続き事業を進めました。 ○用地取得 大田区土地開発公社が代行取得したⅡ期地（1,158.34 m <sup>2</sup> ）について、平成 29 年度分の買戻しを行いました。 ○佐伯山緑地造成工事（擁壁）が完了しました。 ○佐伯山緑地造成工事その 5 設計委託が完了しました。			3
<b>【洗足池公園】</b> ○用地取得 公園に隣接する事業用地（面積 266.73 m <sup>2</sup> ）の事業化に向けて、東京都及び関係部との調整を行いました。 ○洗足池公園改良工事（東部）その 2 が完了しました。 ○水環境改善基礎調査（その 1）を実施しました。			3
<b>【多摩川台公園】</b> ○都市計画事業が完了しました。 ○多摩川台公園改良工事その 3（バリアフリー）が完了しました。 ○多摩川台公園改良工事その 4 設計委託（バリアフリー・トイレ改修）が完了しました。 ○虹橋改修工事が完了しました。			3
<b>【羽田空港跡地の広場緑地整備】</b> ○（仮称）多摩川親水緑地工事設計委託が完了しました。			3
<b>所管部</b>	空港まちづくり本部、都市基盤整備部		

※【羽田空港跡地の広場緑地整備】については、施策 2-2-1「2 水と緑のふれあいゾーンの整備」の取り組み【多目的広場などの整備推進】の一部となります。決算額の重複を避けるため、当該経費は「2 水と緑のふれあいゾーンの整備」にのみ計上しています。

## 2 地域に根ざした公園・緑地の整備 実施計画事業

区民との協働による公園・緑地の新設・拡張やリニューアル整備などの機会をとらえ、多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれ、区民に愛される魅力ある公園づくりを進めます。

決 算 額	936,931,221 円	執 行 率	89.39%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【公園の新設・拡張整備】</b></p> <p>○用地取得 まごめばし児童公園、（仮称）田園調布五丁目緑地、（仮称）大森東三丁目第三児童公園の用地を取得しました。</p> <p>○調査・設計 ・（仮称）田園調布五丁目緑地整備基本構想委託を実施しました。 ・（仮称）南六郷三丁目第二児童公園改良工事設計委託が完了しました。 ・公園改良工事図面作成委託（仲六郷三丁目公園、仲一ひばり児童公園、大鳥居児童公園）が完了しました。</p> <p>○整備工事 ・水神公園休憩所新築その他工事に着手しました。 ・仮称西蒲田四丁目第二児童公園造成工事が完了しました。</p>			3
<p><b>【大規模公園の移動円滑化整備】</b></p> <p>○多摩川台公園改良工事その 3（バリアフリー）が完了しました。</p> <p>○多摩川台公園改良工事その 4（バリアフリー・トイレ改修）設計委託が完了しました。</p>			3
<p><b>【公園リニューアル・長寿命化対策の推進】</b></p> <p>○仲一ひばり児童公園及び萩中公園改良工事の設計が完了しました。</p> <p>○千鳥いこい公園、萩中公園（遊具整備）、東糞谷第一公園（その 1）の改良工事が完了しました。</p> <p>○池上梅園の改良工事その 3 については、一部工程に支障が生じたため、工期を平成 30 年 5 月末まで延伸することとしました。</p>			3
<p><b>【大森南圃場の再整備】</b></p> <p>○平成 31 年度以降の事業化に向けた部内及び庁内の調整を進めました。</p>			3
<p><b>【遊具の安心・安全対策の推進】</b></p> <p>○遊具点検 公園遊具の劣化診断を実施（453 公園 1,829 基）し、安全性を確認しました。</p> <p>○遊具整備 蒲田一丁目公園に設置している木製複合遊具の取替工事を実施しました。</p>			3
<p><b>【健康遊具の整備】</b></p> <p>○庁内調整・事業化検討 福祉部等、関係部局及び東京工科大学と連携し、事業化へ向けた検討を行いました。</p> <p>○「公園緑地ストック有効活用基礎調査」の中で、健康遊具の活用を想定して、2 地区において具体的な検討を行いました。</p>			3
<p><b>【樹木の保全更新】</b></p> <p>○サクラの保全・更新のため、洗足池公園及び多摩川台公園において、樹木の伐採・植付けを行いました（洗足池公園 2 本更新、多摩川台公園 5 本更新）。</p>			3

<b>【公園整備方針の改訂】</b>	
○平成 28 年度に実施した公園利用実態調査結果の検証を行うとともに「公園緑地ストック活用基礎調査」を実施し、区内モデル地区（6 か所）での公園のあり方について検討を行いました。	
<b>所管部</b>	都市基盤整備部

### 3 多摩川ふれあいの場の整備

多摩川で活動する区立小学校やNPO 法人などと連携しながら、「水辺の楽校」による自然体験や環境学習をはじめ、区民が多摩川に親しみながら相互交流を図れるような事業を支援します。

<b>決 算 額</b>	0 円	<b>執 行 率</b>	— %
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【「水辺の楽校」活動の支援】</b>			3
○うのき、羽田両水辺の楽校の活動支援として、国土交通省や他団体の活動状況などを情報提供しました。			
<b>【ふれあい拠点の整備】</b>			3
○区内三校目となる「やぐちのわたし水辺の楽校」の設立に向けてヒアリングを行うと同時に、今後の手続きや拠点整備等について、国土交通省京浜河川事務所をはじめ関係機関との連絡・調整を図り、検討を行いました。			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

### 4 呑川緑道の整備（風の道のまちづくり）

実施計画事業

呑川は水と緑の環境軸として、川沿いの道路や護岸の緑化、景観と環境に配慮した舗装などの散策路整備を進めます。呑川の歴史や自然環境など地域資源を活かして、観光の視点を取り入れたサイン整備を引き続き進めます。

<b>決 算 額</b>	62,088,120 円	<b>執 行 率</b>	71.55%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【緑道整備】</b>			3
○整備工事（東雪谷五丁目 延長 80m）を実施しました。 ○南雪谷五丁目の呑川緑道整備に関する設計委託が完了しました。			
<b>【サイン整備】</b>			
○目黒区境から河口までのサイン整備工事が完了しました。			
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

## 5 桜のプロムナードの整備 実施計画事業

水と緑のネットワークの充実を図るため、かつての内川の流れや洗足流れ、馬込桜並木に至る散策路整備を進めます。散策路沿いの歴史や自然環境など地域資源を活かして、観光の視点を取り入れたサイン整備を進めます。

<b>決 算 額</b>	85,891,320 円	<b>執 行 率</b>	96.25%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【散策路整備】</b> ○整備工事(南馬込五丁目 延長 180m)を実施しました。			3
<b>【サイン整備】</b> ○サイン整備に向けた実施設計委託が完了しました。			3
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

## 6 地域力を活かしたみんなのみどりづくり

ふれあいパーク活動やおおた花街道など、区民、事業者、行政の連携による道路・公園などの維持管理や利活用を推進します。公園・緑地などを地域住民が「地域の庭・広場」として利活用できるような活動を支援します。

<b>決 算 額</b>	13,036,105 円	<b>執 行 率</b>	89.32%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【ふれあいパーク活動の推進】</b> ○参入団体の増加に向け、次のとおり広報活動を実施しました。 ・区設掲示板に統合ポスターを掲示(321 か所、14 日間) ・区報に事業紹介及び参加団体募集の記事を掲載（1 回） ・「ふれあいパークニュース」の作成及び配布(55 か所、2,800 部) ○区内事業者の参加を促すための検討を行い、新たな商業施設団体への勧誘を実施しました。 (大森西 3-1 付近) ○ふれあいパーク活動団体相互の交流を図るため、環境対策課「18 色の緑づくり」事業の協力を得て「ふれあいパーク活動 15 周年記念交流会・講習会」を実施しました。 ○東京みどりの研究会に活動報告を実施しました。			3
<b>【おおた花街道の推進】</b> ○7 地区（田園調布二丁目地区、鶯の木二・三丁目地区、大岡山駅前広場、久が原地区、山王二丁目地区、池上六・七丁目地区、東矢ロー・二丁目地区）における活動を支援しました（参加者延べ人数 800 人）。 ○事業の現状と課題について、部内で検討しました。			3
<b>【公園施設利活用の推進】</b> ○平和の森公園展示室利用者数のさらなる増加を目指し、運営業務を委託している地域住民主体の NPO と連携・協力を図りました。取組みの一環として、「東京 2020 参画プログラムブルートライアングル公開講座」を開催しました（7 月 22 日 51 名参加）。 ○洗足池公園旧管理棟の有効活用について検討し、休憩所として暫定利用するため、平成 30 年度に設計委託・整備工事を実施することとしました。			3
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 1	水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します
施策 4	安全で安心して暮らせるまちをつくります

## 1 木造密集市街地の整備促進 実施計画事業

不燃化建替え助成などを行い、木造住宅が密集する市街地、地区防災道路沿道の不燃化・耐震化を促進します。

<b>決 算 額</b>	201,039,829 円	<b>執 行 率</b>	62.46%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【住宅市街地総合整備事業】</b> ○幅員 6 m への拡幅を位置づけた重点整備路線の沿道地権者に対し、用地買収に関する具体的な折衝を行い、6 件の土地売買契約を締結しました。 ○羽田地区の地区計画導入に向けて、まちづくりルールに関する区の検討状況の説明会（7 回）を開催しました。また、区の検討状況に関するアンケート調査を実施し、いただいたご意見を基に、まちづくりルールの素案を作成しました。			3
<b>【都市防災不燃化促進事業】</b> ○窓口等で事業の周知に努め、「大森中・糀谷・蒲田地区防災街区整備地区計画」の区域内における地区防災道路周辺の建物の建替え促進を図りました。 ○平成 29 年度の助成実績は、交付件数 10 件でした。			3
<b>【不燃化特区制度を活用した不燃化まちづくり助成事業】</b> ○助成実績は、戸建て・共同建替えが 20 件、老朽建築物除却が 11 件、壁面後退奨励金が 3 件でした。 ○大森中地区において、地域住民等により構成された防災まちづくりの会が行う不燃化特区制度の利活用促進のための資料作成等を支援し、事業周知や助成制度の利用拡大に努めました。			3
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		

## 2 建築物の耐震改修促進 実施計画事業

耐震化助成などを行い、主要道路沿道の民間建築物などの耐震化を促進します。

<b>決算額</b>	639,950,248 円	<b>執行率</b>	95.66%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【住宅・マンションなどの耐震化促進】</b></p> <p>○平成 29 年度の耐震化助成実績は、診断 126 件、設計 72 件、工事 68 件、アドバイザー派遣 2 件でした。28 年度に拡充した分譲マンション耐震化アドバイザー制度を個別訪問により周知する等、普及啓発を強化した結果、180 戸の大型分譲マンションにおいて耐震診断が行われ、耐震化に向けた取り組みが前進しました。</p> <p>○対象となる木造住宅全戸に対し、平成 28 年度から 3 か年計画で助成制度を個別に周知する取り組みを開始しました。平成 29 年度は約 9,800 戸に個別周知を行い、うち 71 件の希望者に個別訪問を行った結果、新たに 24 件の耐震診断助成の申請がありました。</p>			3
<p><b>【特定緊急輸送道路建築物耐震化助成】</b></p> <p>○特に耐震化を図る必要がある、東京都が指定した道路沿いの建物の所有者に対して、平成 29 年度は国の制度と合わせ改修工事費の最大 9 割まで助成を行う等、制度を大幅に拡充し、耐震診断 1 件、設計 3 件、工事 9 件の助成を行いました。</p>			/
<p><b>【沿道耐震化道路沿い建築物の耐震化促進】</b></p> <p>○平成 29 年度の耐震化助成実績は、診断 12 件、設計 4 件、工事 5 件でした。</p> <p>○耐震化促進を図るため、助成制度の個別周知を行い、利用促進を図りました。</p>			3
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		

### 3 橋梁の耐震性の向上 実施計画事業

区が管理する橋梁の中で、緊急道路障害物除去路線や鉄道を跨ぐ橋梁など、防災上重要な優先対策橋梁 73 橋のうち、未整備の橋の架替え・耐震補強整備を計画的に進めます（33 橋の架替え整備・耐震補強整備に着手）。

<b>決算額</b>	545,383,210 円	<b>執行率</b>	71.81%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【架替え整備】</b> ○三ツ木橋の設計委託が完了しました。			3
<b>【耐震補強整備】</b> ○呑川・海老取川に架かる橋梁 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芹ヶ谷橋及び根方橋の構造改良詳細設計委託が完了しました。</li> <li>・久根橋及び長栄橋の構造改良検討設計委託が完了しました。</li> <li>・稲荷橋の耐震性照査委託が完了しました。</li> <li>・本村橋の構造改良工事に伴う事後家屋調査委託が完了しました。</li> </ul> ○跨線橋（鉄道を跨ぐ橋梁） <ul style="list-style-type: none"> <li>・西三跨線人道橋及び道々女木橋の耐震補強工事が完了しました。</li> <li>・第二中谷跨線人道橋の耐震補強工事に着手しました。</li> <li>・新根方橋の工事に向けて、関係機関（東京都水道局、JR 東日本、JR 東海）との協議を行いました。</li> </ul>			3
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

### 4 下水道の整備

東京都と連携しながら、下水道管の耐震性の強化や、雨水管整備による排水能力の向上など、区民の安全と快適な暮らしを支える下水道の整備を進めます。

<b>決算額</b>	583,188,994 円	<b>執行率</b>	94.61%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【雨水管などの整備】</b> ○東京都下水道局による上沼部雨水幹線（田園調布地区＜下水道分流地区＞）整備工事に関して、関係者協議や施工ヤード確保などに協力し、工事が着手されました。 ○久が原五丁目付近管渠改良工事（下水道）が完了しました。			3
<b>【下水道管の耐震化】</b> ○地区内残留地区（蒲田地区、京浜島地区）の下水道管路耐震化工事が完了しました。 ○避難所及び災害復旧拠点等の下水道管路耐震化工事が完了しました。			3
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

## 5 総合治水対策

頻発する集中豪雨や台風などの大雨から区民の安全を守り、安心できる生活を支えるために、道路・公園・建物などからの雨水の流出を抑制し、下水道や河川に流入する雨水の量を軽減する総合的な治水対策に取り組みます。

決 算 額	125,249,123 円	執 行 率	98.83%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<b>【浸水被害地区浸水対策の東京都との連携】</b> ○区内の浸水対策の早期実現に向け、東京都下水道局と連携しながら、具体的各対策について調整を行いました。 ○上池台地区の浸水対策におけるバイパス管渠整備工事の施工ヤードとなる仲池上広場の使用条件等について、東京都下水道局、福祉部、池上長寿園と協議を行い、下水道局による工事が着手されました。			3
<b>【透水性舗装】</b> ○道路や公園等の工事において、透水性舗装を実施しました。 ・蒲田駅西口駅前広場整備工事 2,685 m <sup>2</sup> ・鉄京本付 2（都市高速鉄道京浜急行電鉄本線付属街路第 2 号線）整備工事 92 m <sup>2</sup> ・桜のプロムナードの整備 282 m <sup>2</sup> ・多摩川台公園改良工事 1,098 m <sup>2</sup> ・洗足池公園改良工事 12 m <sup>2</sup>			3
<b>【道路、公園などの浸透ますの設置】</b> ○東雪谷三丁目付近において、雨水浸透ます設置工事（10 か所）を実施しました。 ○公園整備工事において、雨水浸透ますを設置しました。（洗足池公園：1 か所、西蒲田四丁目まつお児童公園：2 か所）。			3
<b>【開発事業者に対するの雨水流出抑制の指導】</b> ○区報掲載による制度周知のほか、おたすまいづくりフェアへの出展や窓口におけるパンフレット配布、デジタルサイネージでの放映など、積極的な周知・広報活動を行った結果、雨水貯留槽設置については 177 件（小型 203 基、大型 1 基）、雨水浸透施設設置については 1 件の助成実績につながりました。			3
所管部	まちづくり推進部、都市基盤整備部		

## 6 災害時水上輸送ネットワークの向上

災害時における水上輸送ネットワークを構築するため、河川や運河を利用した緊急時の輸送ルート確保や船着場の整備・改築を行うとともに、関係団体などとの連携体制を強化します。

決 算 額	1,890,000 円	執 行 率	99.43%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<b>【防災船着場の整備・改築】</b> ○羽田空港天空橋船着場外観調査委託が完了し、施設の安全性を確認しました。			3

<b>【関係団体などとの連携】</b>		3
○区の水陸輸送計画の補完的な船着場として、京浜島の棧橋保有事業者1社と、災害時における船着場の提供について災害時協力協定を締結、海上自衛隊が現地視察を実施するなど、棧橋施設の具体的な利用方法等について検討を行いました。		
<b>所管部</b>	総務部、都市基盤整備部	

## 7 移動を円滑にするユニバーサルデザインの推進

「ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」及び「移動等円滑化推進方針」に基づき、多くの人が集まる拠点や公共施設、民間施設のユニバーサルデザイン環境を充実させます。

<b>決 算 額</b>	1,023,300 円	<b>執 行 率</b>	77.24%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【かまた街なか”すいすい”プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】</b> ○蒲田駅周辺地区で特定事業を実施する事業者を対象に、事業の進捗管理を実施しました。 ○大田区移動等円滑化推進協議会を開催（1回、出席者30人）し、特定事業の進捗状況を報告しました。また、協議会では、改正が予定されているバリアフリー法をはじめ、関連施策の見直しの内容等について、委員長から情報提供をいただき、関係者間で最新の国の動向を確認することができました。			3
<b>【おおもり街なか”すいすい”プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】</b> ○大森駅周辺地区で特定事業を実施する事業者を対象に、事業の進捗管理を実施しました。 ○大田区移動等円滑化推進協議会を開催（1回、出席者30人）し、特定事業の進捗状況を報告しました。また、協議会では、改正が予定されているバリアフリー法をはじめ、関連施策の見直しの内容等について、委員長から情報提供をいただき、関係者間で最新の国の動向を確認することができました。			3
<b>【主要拠点及び生活関連施設などの点検及び整備】</b> ○大田区画街路第1号線（大岡山）整備工事前の図面点検（参加者25人（区職員含む））を実施しました。			3
<b>【区有施設のユニバーサルデザインの点検及び整備】</b> ○大田スタジアムにおいて、改修整備前の点検（参加者63人（区職員含む））を実施しました。 ○大森ふるさとの浜辺公園において、休憩所等の完成後の点検（参加者29人（区職員含む））を実施しました。			3
<b>所管部</b>	まちづくり推進部、都市基盤整備部		

※【かまた街なか”すいすい”プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】と【おおもり街なか”すいすい”プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】については、一体的に取り組んだため、主要施策の成果（平成29年度の取り組み内容）は同様の記載となります。

## 8 都市基盤施設の維持更新 実施計画事業

道路・橋梁などの維持管理手法を対症療法型から予防保全型へ転換し、都市基盤施設を延命化するとともに、PDCA サイクルに基づく計画的な維持管理を行い、施設の安全性を確保します。

決算額	620,241,964 円	執行率	82.65%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【橋梁長寿命化修繕計画の推進 ー橋梁の補修ー】</b></p> <p>○補修設計委託 4 橋（鶴林橋、妙見橋、平和島陸橋（南側・北側））が完了しました。</p> <p>○補修工事 2 橋（呑川橋、新橋）が完了しました。</p>			3
<p><b>【道路の維持・更新計画の推進 ー道路の維持・更新ー】</b></p> <p>○アスファルト舗装工事を以下のとおり実施しました。</p> <p>[大森管内]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中馬込三丁目 2 番～3 番先外 1（舗装面積 636 m<sup>2</sup>）</li> <li>・池上三丁目 23 番～21 番先外 1（舗装面積 1,283 m<sup>2</sup>）</li> <li>・南馬込三丁目 37 番～39 番先は契約不調により工事を見送りました。</li> </ul> <p>[調布管内]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川町二丁目 7 番～22 番先（舗装面積 1,126 m<sup>2</sup>）</li> <li>・上池台三丁目 22 番～31 番先（舗装面積 827 m<sup>2</sup>）</li> <li>・田園調布一丁目 31 番～34 番先（舗装面積 1,098 m<sup>2</sup>）</li> <li>・南千束三丁目 16 番～18 番先（舗装面積 601 m<sup>2</sup>）</li> </ul> <p>[蒲田管内]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩川二丁目 27 番～24 番先外 1（舗装面積 2,200 m<sup>2</sup>）</li> <li>・多摩川二丁目 5 番～9 番先（舗装面積 1,850 m<sup>2</sup>）</li> </ul> <p>[糎谷・羽田管内]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東糎谷四丁目 10 番～11 番先（舗装面積 1,676 m<sup>2</sup>）</li> <li>・本羽田一丁目 14 番～18 番先（舗装面積 1,312 m<sup>2</sup>）</li> </ul> <p>○路面下空洞調査委託（延長約 118km）を実施しました。</p> <p>○路面下空洞箇所緊急補修工事（18ヶ所）を実施しました。</p>			3
所管部	都市基盤整備部		

## 9 生活安全の確保

区道に設置されている街路灯を、環境面とライフサイクルコストに優れた LED 街路灯として整備することで、歩行者や自転車の夜間における視認性を高め、区道における安全を確保します。私道における防犯灯設置助成を自治会・町会などに行うとともに、区民と連携したパトロールを行い、地域の生活安全を確保します。

<b>決 算 額</b>	648,218,936 円	<b>執 行 率</b>	98.37%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【LED 街路灯整備の推進】</b></p> <p>○以下のとおり、小型街路灯（LED）改良工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大森地区 1,360 灯</li> <li>・調布地区 1,396 灯</li> <li>・蒲田地区 1,568 灯</li> <li>・糀谷・羽田地区 360 灯</li> </ul> <p>○以下のとおり、大型街路灯（LED）改良工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島部地区（京浜島全域） 191 灯</li> <li>・池上一丁目 35 番先～池上四丁目 21 番先 20 灯</li> <li>・池上七丁目 7 番先～30 番先 10 灯</li> <li>・大森南一丁目 15 番先～18 番先 6 灯</li> <li>・大森東四丁目 14 番先～大森東五丁目 21 番先 13 灯</li> <li>・上池台五丁目 37 番先～仲池上一丁目 18 番先 23 灯</li> <li>・東雪谷一丁目 8 番先～東雪谷四丁目 25 番先 37 灯</li> <li>・北糀谷一丁目 7 番先～北糀谷二丁目 9 番先 10 灯</li> <li>・羽田三丁目 32 番先～羽田六丁目 21 番先 4 灯</li> <li>・萩中一丁目 13 番先～萩中三丁目 22 番先 55 灯</li> </ul> <p>○以下のとおり公園灯（LED）改良工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大森地区（平和の森公園ほか 49 か所） 289 灯</li> <li>・調布地区（洗足池公園ほか 36 か所） 148 灯</li> <li>・蒲田地区（下丸子公園ほか 34 か所） 144 灯</li> <li>・糀谷・羽田地区（萩中公園ほか 33 か所） 214 灯</li> </ul>			3
<p><b>【防犯灯設置助成】</b></p> <p>○地域力推進地区委員会における自治会・町会への事業説明等、事業周知に努めた結果、当初想定 77 基に対し、115 基（31 件）の助成実績につながりました。</p>			4
<b>所管部</b>	まちづくり推進部、都市基盤整備部		

## 10 交通安全の推進

JR 京浜東北線・東海道線を横断している学校踏切などにおいて、電車との接触事故の危険性を無くすため、安心して、安全に横断できる施設の整備を進めます。また、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、交通安全意識の普及と浸透を図るとともに、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより交通事故防止を図ります。

<b>決算額</b>	25,283,054 円	<b>執行率</b>	95.81%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【踏切における安全対策の推進】</b> ○地元調整、関連機関協議の結果、注意看板設置や啓発活動を行いました。			3
<b>【交通安全教育の推進】</b> ○交通安全移動教室を開催（90 回、参加者延べ 5,168 人）しました。 ○交通公園を利用した自転車教室を開催（3 回、参加者延べ 210 人）しました。 ○高齢者に対し交通安全集会を開催（30 回、参加者延べ 1,236 人）しました。 ○スケアード・ストレイト*方式による交通安全教育を実施（12 回）しました。 ○交通安全だよりを幼稚園・保育園児向けに年 3 回、小学校低学年向けに年 3 回、高学年向けに年 2 回発行しました。			3
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

※スケアード・ストレイトとは、「恐怖を直視する」という意味で、自転車の重大事故を防止するためスタントマンが自転車事故を再現することで、自転車のルール違反がなぜ危険なのか参観者に視覚的に理解してもらうことです。

## 11 空家等対策の推進

実施計画事業

新規

大田区空家等対策計画に基づき平成 28 年 8 月に開設した空家総合相談窓口において、空家等の適切な維持管理や活用等に関する区民からの様々な相談に応じることで、空家対策を推進します。

決 算 額	36,411,922 円	執 行 率	87.45%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【相談体制の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○空家総合相談窓口で 744 件、毎月 1 回開催している空家総合相談会で 33 件の相談を受けました。</li> <li>○区が把握している空家（約 300 件）の所有者等に対してアンケート調査を実施し、物件の維持管理や利活用、建替え等に関する意向を確認するとともに、空家総合相談窓口や空家総合相談会を案内しました。</li> </ul>			/
<p><b>【空家等の活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○空家の活用に関する相談（提供者延べ 45 件、活用者延べ 155 件）を受け、提供者 12 件、活用者 17 件を空家等地域貢献活用事業に登録しました。</li> <li>○空家提供者と活用者との間で、マッチングが 5 件成立しました。</li> <li>○空家等地域貢献活用事業補助金の助成対象者を募集した結果、2 件の応募があり、2 件に補助金を交付しました。</li> <li>○遺贈を受けた空家を、空家活用事業研究施設として活用するため、耐震改修工事を行いました。</li> </ul>			
<p><b>【空家等の適正管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○空家等対策審議会（3 回）を開催しました。</li> <li>○空家等庁内調整会議（3 回）及び同作業部会（2 回）を開催しました。</li> <li>○空家等対策審議会での審議及び答申を受け、著しく管理不全な空家等について、平成 29 年度に新たに 1 件を特定空家等と判定しました。</li> <li>○これまでに特定空家等と判定された 3 件のうち、1 件は民法の不在者財産管理人の活用により解体し、1 件は空家所有者により解体され、残り 1 件は引き続き指導を行っています。</li> <li>○空家に関する陳情（141 件）等を受け、管理不全な空家所有者等に対し、改善を求める文書を 127 件送付しました。</li> </ul>			
所管部	まちづくり推進部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 1

世界へ羽ばたくまちをつくります

### 1 世界と交流しにぎわう産業支援・文化交流施設の整備

実施計画事業

産業支援機能や国内外の人々が交流できる機能とともに、羽田の歴史を後世に伝えるコーナーを備えた施設の整備を進めます。自然エネルギーの活用など環境に配慮したまちづくりを検討します。

### 2 水と緑のふれあいゾーンの整備

実施計画事業

多目的広場の整備を推進し、潤いとやすらぎの親水緑地空間を創出します。あわせて、地域の防災機能の強化に資する空間としての整備を進めます。

### 3 空港跡地の交通結節点機能の充実

実施計画事業

交通結節点機能を強化するため、天空橋駅前広場や跡地第1ゾーン内の道路などの整備を進めます。

決 算 額	96,934,477 円	執 行 率	93.65%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p>【産業支援・文化交流施設の整備推進】【多目的広場などの整備推進】</p> <p>【駅前広場及び道路などの整備推進】</p> <p>○羽田空港跡地第1ゾーン（第一期事業）について、学識経験者等で構成される選定委員会の審査結果を踏まえ、整備・運営事業予定者を決定しました。また、第一期事業の円滑な実施に必要な区と事業予定者双方の協力事項及び諸手続き等を定めた基本協定を締結しました。</p> <p>○産業交流促進のためのイベントを12回開催しました。</p> <p>○産業支援機能の具体化に向けて、区内企業を対象に提案型人材育成プログラムを開催（座学4回、実地講座4回）しました。また、区内企業と国内外ベンチャー企業の連携創出事業において、マッチングイベントを2回開催しました。</p> <p>○各地の関係団体等と連携し、『国際都市おおたフェスティバル in 「空の日」羽田』においてクールジャパンエリアを展開するとともに、跡地まちづくりの理解促進に取り組みました。</p> <p>○大阪国際空港就航都市事務担当者会議において、羽田空港跡地第1ゾーンの取り組みなどについて、多くの自治体に空港跡地の周知を行くとともに、ネットワーク拡充を図りました。</p> <p>○2020年のまちづくりの概成に向けて、土地区画整理事業の施行者である独立行政法人都市再生機構により基盤整備が着工されました。また、電線共同溝整備に向けた関係機関との協議調整や道路設計、交通管理者協議、第一期整備・運営事業予定者との工事調整等を進めました。</p> <p>○羽田空港跡地エリアにおいて官民を問わず様々な施設等が協調し、歩行者の利便性向上に資する案内誘導サイン整備の基本的なルールとなる「羽田空港跡地サイン整備ガイドライン」を策定しました。</p> <p>○第2ゾーン多摩川親水緑地の整備に向けて、関係機関等と協議・調整を進めるとともに、実施設計を行いました。</p>			3
所管部	産業経済部、空港まちづくり本部		

※「世界と交流しにぎわう産業支援・文化交流施設の整備」「水と緑のふれあいゾーンの整備」「空港跡地の交通結節点機能の充実」は一体的な取り組みであるため、主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）及び決算額についても一体としています。

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 2	首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります
施策 2	未来につながる空港臨海部をつくります

## 1 空港臨海部土地利用(活用)の誘導 実施計画事業

空港臨海部の産業のあり方や空港・港湾に隣接する立地特性を活かした土地利用(活用)の誘導などについて、にぎわい・観光の視点も踏まえながら地域との連携を積極的に図り、具体化します。

決算額	16,767,000 円	執行率	100.00%
主要施策の成果(平成 29 年度の取り組み内容)			進捗状況
<p><b>【重点プロジェクトの検討・推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各島連絡協議会を 2 回(昭和島 1 回、城南島 1 回)、3 島全体連絡協議会を 1 回開催しました。各島の協議会では、各島の課題に対する平成 29 年度の取り組みや進捗状況を確認し、全体協議会において各島の取り組みを共有しました。</li> <li>○京浜島では、まちづくりビジョン検討会(4 回)を開催しました。また、島内周知のため、まちづくりビジョン説明会(2 回)を開催しました。検討会では、将来像の実現に向けて短期的に取り組むべきアクションプランについて、地元の意見を踏まえながら取組方針等を協議・検討しました。</li> <li>○アクションプランの 1 つとして、島内企業向け工場見学会(京浜島オープンファクトリー)を実施(3 日間、参加企業 12 社、参加者 33 人)しました。</li> <li>○羽田旭町周辺地区について、民間事業者の開発計画に伴い、散策路や歩行者空間の整備、区域内の区有地付替え及び旧整備地区へのアクセス確保等について、地元自治会、事業者及び区で協定等を締結しました。</li> <li>○流通センター駅周辺地区では、開発計画の完了に合わせて、事業者と締結した協定に基づき、京浜運河沿いの散策路(総延長約 1.5km の一部、約 500m)を整備しました。</li> <li>○大森ふるさとの浜辺公園周辺地区では、桜のプロムナードの一部である内川沿いの散策路を中心に、公園へのアクセス性向上に向けた具体の整備方策を検討しました。</li> </ul>			3
所管部	まちづくり推進部		

※「空港臨海部土地利用(活用)の誘導」と「空港臨海部交通ネットワークの拡充」は、一部一体的に取り組んだため、決算額は統合しています(重複を避けるため「空港臨海部土地利用(活用)の検討」のみに計上)。

## 2 中央防波堤埋立地の将来構想の検討

帰属問題について区民、区議会とも一体となって早期解決を図り、空港臨海部において、中央防波堤埋立地のポテンシャルを最大限に活かした将来の構想を国、都等関係機関とも協議しながら検討します。

<b>決 算 額</b>	4,046,320 円	<b>執 行 率</b>	79.48%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【関係機関との連携】</b></p> <p>○昨年度から引き続き、東京都をオブザーバーとし、大田区と江東区による正式協議を開催（2回、4月18日、5月29日）しました。その後、両区の区長・議長による会議を開催し、地方自治法に基づく調停申請を行う方向性を確認しました。</p> <p>○大田区議会第2回定例会に調停申請のための議案を提出し、全会一致で可決されました。</p> <p>○これまで強化・深度化してきた大田区の論拠をとりまとめた調停申請書を作成し、東京都知事宛てに提出しました（7月18日）。</p> <p>○東京都自治紛争処理委員による調停に付され、調停申請書に記載した大田区の論拠について主張しました（8月2日）。</p> <p>○東京都自治紛争処理委員から示された調停案について十分分析するとともに、専門的な見地からの検討も重ねた結果、合理的な内容ではないと判断しました。</p> <p>○この結果、調停案の受諾を拒否する旨及び境界確定のための訴えを提起する議案を、大田区議会第2回臨時会それぞれ提出し、いずれも全会一致で議決されました（10月29日）。</p> <p>○議決を受け、公正公平かつ合理的な解決をめざし、東京地方裁判所に訴えを提起しました（10月30日）。</p> <p>○第1回口頭弁論が開かれ、大田区の主張を述べました（1月26日）。</p>			3
<p><b>【当区の主張の確立強化とアピール】</b></p> <p>○区長・議長による会議の開催や、調停申請のための議案の議決、調停申請書の提出等の機会を捉え効果的なプレス対応等を行い、大田区の主張を広く発信しました。</p>			3
<p><b>【将来構想の調査研究】</b></p> <p>○調停申請書における中央防波堤埋立地の将来的な利活用について、東京都の方向性を踏まえ検討を進めました。</p> <p>○東京都は、平成30年1月に公表した『「3つのシティ」の実現に向けた政策の強化（平成30年度）」において、国際競争力強化のための外貿コンテナふ頭の整備推進として、中央防波堤外側埋立地を位置付けました。区も、「おおた都市づくりビジョン」に基づき、国際競争力強化のための大田区空港臨海部及び中央防波堤埋立地の一体的な活用を主張しました。</p>			3
<b>所管部</b>	企画経営部		

### 3 空港臨海部交通ネットワークの拡充 実施計画事業

空港臨海部の将来構想及び交通ネットワーク基礎調査を基に、空港臨海部のまちづくりと連動した道路網、公共交通機関、舟運などの交通ネットワークを拡充・整備します。国道 357 号の多摩川以南の整備促進を働きかけることにより、空港アクセス及び都市間交通を円滑化します。

決算額	0 円	執行率	— %
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【空港臨海部道路網の計画検討・整備促進】</b> ○臨海部の主要交差点における慢性的な交通渋滞対策について、過年度検討した京浜大橋北交差点の改良案を踏まえ、主要幹線道路の開通に伴う将来的な広域交通ネットワークへの影響等を考慮しながら、道路管理者と意見交換等を行いました。 ○臨海部において多様な交通手段の活用による周遊性の向上を図るため、コミュニティサイクルを含む自転車と舟運とを連携させた事例を検証し、活用の可能性を整理しました。			3
<b>【公共交通、舟運及び新たな交通システムの検討、整備】</b> ○公共交通については、内陸部から臨海部へのアクセスを改善するため、JR 大森駅から京浜島間のバスの増強に向けた方策の実現を事業者に働きかけました。また、新交通システムの導入効果・課題等に関する詳細検討を行いました。 ○舟運の社会実験では、大森ふるさとの浜辺公園船着場を発着場所とし、臨海部の景観資源である空港島周辺を巡るコースにおいて、検証運航を実施（夏 3 回、秋 2 回、乗船者数延べ 175 人）しました。また、東京都主催の水辺空間活用（舟運）ワーキングに出席し、取組施策の検討や他区・関連事業者との情報交換、社会実験の同日開催による連携及び接岸協力等を行いました。			3
<b>所管部</b>	まちづくり推進部		

※「空港臨海部土地利用（活用）の誘導」と「空港臨海部交通ネットワークの拡充」は、一部一体的に取り組んだため、決算額は統合しています（重複を避けるため「空港臨海部土地利用（活用）の誘導」のみに計上）。

### 4 海上公園の移管整備

東京都港湾局から移管予定の海上公園について、空港臨海部の特色を踏まえた活用を検討し、区立公園として再整備を進めます。

決算額	0 円	執行率	— %
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【港湾局移管公園の活用検討】</b> ○4 か所目の移管対象となる都立京浜島ふ頭公園について、移管に向けた検討を行いました。			3
<b>【移管公園の再整備】</b> ○（仮称）昭和島二丁目公園について、実施設計委託が完了し、整備工事（多目的スポーツ広場、駐車場、電気設備等）及び管理棟新築工事が完了しました。			3
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

※「新スポーツ健康ゾーンの整備」と「海上公園の移管整備」は、一部一体的に取り組んだため、決算額は統合しています（重複を避けるため「新スポーツ健康ゾーンの整備」のみに計上）。

## 5 新スポーツ健康ゾーンの整備 実施計画事業

大田区の特徴である水辺を活かし、年代や性別を超えて誰でもスポーツを楽しめる水辺のレクリエーション拠点を「大森ふるさとの浜辺公園」を中心に整備します。空港臨海部に点在する公園との連携も視野に入れた事業展開をめざします。

<b>決 算 額</b>	288,723,992 円	<b>執 行 率</b>	88.18%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【調査検討・関係機関との協議】</b> ○（仮称）昭和島二丁目公園について、隣接する羽田鉄鋼団地や大森東地区自治会連合会等との意見交換を基に整備内容を確定しました。また、平成 30 年度に実施予定の工事についての方針が確定し、公園全体の整備内容が概ね確定しました。 ○森ヶ崎公園について、大田区サッカー協会や大森東地区自治会連合会等と適宜意見交換を実施し、新たに整備するサッカー場や駐車場の配置など、整備内容が概ね確定しました。			3
<b>【レクリエーション施設の整備】</b> ○（仮称）昭和島二丁目公園の実施設設計が完了しました。 ○（仮称）昭和島二丁目公園整備工事（多目的スポーツ広場、駐車場等、電気設備、管理棟新築）が完了しました。 ○森ヶ崎公園改良実施設計委託が完了しました。			3
<b>【連携公園の整備】</b> ○（仮称）昭和島二丁目公園の実施設設計が完了しました。 ○（仮称）昭和島二丁目公園整備工事（多目的スポーツ広場、駐車場等、電気設備、管理棟新築）が完了しました。 ○森ヶ崎公園改良実施設計委託が完了しました。			/
<b>所管部</b>	都市基盤整備部		

※【レクリエーション施設の整備】と【連携公園の整備】については、一体的に取り組んだため、主要施策の成果は（平成 29 年度の取り組み内容）は同様の記述となります。

## 6 海辺の散策路整備 実施計画事業

海老取川から平和島運河周辺などにかけて、空港臨海部の水とみどりの拠点を結ぶネットワークを形成するため、関係機関と協力しながら、散策路や公共溝渠の整備を進めます。

決 算 額	112,365,272 円	執 行 率	66.76%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<b>【整備手法に関する検討】</b> ○北前堀の水門廃止と防潮堤及び海辺の散策路整備に関する事業手法や、都区の役割分担について、引き続き東京都との協議を重ね、事業計画についてほぼ方向性がまとめられました。			3
<b>【散策路の整備】</b> ○貴船堀部の散策路の整備について、関係者との調整を図りました。 ○大森南先の海辺の散策路トイレ2か所の整備工事が完了しました。			3
<b>【公共溝渠の整備】</b> ○南前堀整備工事（締切護岸、埋立造成等の一部）が完了しました。 ○旧呑川整備工事（締切護岸等）は、東京都の防潮堤整備工事工程の遅れにより、工期を平成 30 年 7 月まで延伸することとしました。 ○貴船堀整備工事は、入札不調により実施が困難となったため、平成 30 年度に実施することとしました。 ○公共溝渠整備（北前堀）の実施設計委託は、東京都の事業計画の遅延により、平成 30 年度に実施することとしました。			2
所管部	都市基盤整備部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 3

国際都市として交流を育みます

## 1 18色の国際都市事業の推進

国際都市・多文化共生推進課と18の特別出張所が、地域団体と連携しながら各地域の独自性を活かし、「国際都市おおた」を実感できるような取り組みを行い、外国人と地域住民との交流促進を支援します。

決算額	214,270 円	執行率	39.17%
主要施策の成果（平成29年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【地域の特色を活かした国際都市事業実施の支援】</b></p> <p>○国際都市・多文化共生推進課と18特別出張所の連携により、地域の特色を活かした行事を以下のとおり実施しました。様々な行事を通じて外国人と地域住民が交流することで、文化的背景や考え方の違いを相互に理解し合い、国際都市として外国人を迎え入れる地域づくりを進めることができました。</p> <p>○各出張所が行った取り組みを担当者会等で情報提供したほか、ポスター・チラシの翻訳、国際都市おおた大使への協力要請、国際交流員の派遣、協力者謝礼（外国語講師）、行事材料費の負担等を行いました。</p> <p>＜18地域ごとの事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大森西：大田スタジアムでランニング教室</li> <li>・入新井：第15回入新井盆踊り大会</li> <li>・馬込：馬込地区中学生交流会</li> <li>・池上：第15回池上まつり</li> <li>・新井宿：新井宿 落語祭</li> <li>・嶺町：第8回ぐるっと5町会！みねまちスタンプラリー</li> <li>・田園調布：第10回田園調布グリーンフェスタ</li> <li>・鶴の木：南久が原一丁目 夏の祭典ふれあい祭り</li> <li>・久が原：第28回ふれあい久が原大運動会</li> <li>・雪谷：希望のフェス異世代異文化交流会</li> <li>・千束：「楽しい外国語教室」</li> <li>・糺谷：平成29年度第2回糺谷地区防災会議</li> <li>・羽田：第9回大田スポGOMI大会</li> <li>・六郷：東六郷一丁目町会防災訓練</li> <li>・矢口：第7回二十一世紀桜まつり</li> <li>・蒲田西：蒲田国際フェスティバル</li> <li>・蒲田東：大蒲田祭</li> </ul> <p>※大森東：第7回いつつのわふれあい祭り (10月22日実施予定でしたが、台風のため中止になりました。)</p>			3
所管部	観光・国際都市部		

## 2 全区的・持続的な国際交流の推進 実施計画事業

国際交流事業を全区的・持続的に実施します。そのために、区民主体で柔軟かつ日常的に国際交流イベントなどを開催できる仕組みとして、(仮称)国際交流協会を開設します。

<b>決算額</b>	8,592,152 円	<b>執行率</b>	84.66%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【(一財)国際都市おおた協会 開設・運営】</b></p> <p>○平成 29 年 12 月 21 日に登記を行い、(一財)国際都市おおた協会を設立しました。</p> <p>○設立に際し、以下の視察・ヒアリング等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市国際政策課</li> <li>・(公財)福岡よかトピア国際交流財団</li> <li>・(公財)福岡県国際交流センター</li> <li>・(公財)北九州市国際技術協力協会</li> <li>・(公財)北九州国際交流協会</li> <li>・(公社)青年海外協力協会</li> <li>・神奈川県立地球市民かながわプラザ (あーすぷらざ)</li> <li>・(公財)大和市国際化協会</li> <li>・(公財)目黒区国際交流協会</li> <li>・国際交流ボランティアへのヒアリング：146 人 (アンケートのみ回答：59 人)</li> <li>・国際交流団体へのヒアリング：20 団体 (アンケートのみ回答：11 団体)</li> </ul>			3
<b>所管部</b>	観光・国際都市部		

## 3 「国際都市おおた」の魅力と存在感を国内外に発信

「地域力」の向上が国際都市としての魅力を高め、国内外に大田区の国際都市としての魅力が伝わり、さらに「地域力」が高められるという、相乗効果を生み出すため、ものづくり、良好な住宅街と商業など多様な魅力を持つ大田区の強みを活かし、世界に開かれた大田区の魅力を国内外に発信します。

<b>決算額</b>	1,375,344 円	<b>執行率</b>	95.01%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【「国際都市おおた宣言」調査・検討・実施】</b></p> <p>○区ホームページや区報、YouTube などの広報媒体を活用するほか、各国との国際交流や各種イベントの中で「宣言文カード」等を用いて、「国際都市おおた宣言」を PR しました。</p> <p>○地域のなかで国際化を進めていくヒントを探っていくとともに、「国際都市おおた」の魅力と存在感を区民の皆さんと共有する場として、平成 29 年 12 月 12 日に「国際都市おおたシンポジウム」を開催しました。この中で、「国際都市おおた宣言」PR 動画の上映及び「国際都市おおた宣言」の日本語、英語による朗読を行いました。</p>			3

<p><b>【区民・有識者会議の設置】</b></p> <p>○区民・有識者会議では、これまで区の実情に合った国際都市像について有識者の知見を取り入れながら報告書をまとめ、平成29年3月には「国際都市おおた宣言」を策定し、その役割を担ってきました。区民・有識者会議は一定の目的を遂げたため、平成29年度は区民・有識者会議同様、学識経験者、区民、区議会議員等を委員とする第4期大田区多文化共生推進協議会の中で、区の実情に即した、大田区らしい「国際都市」について議論を重ねました。</p>	3
<p><b>所管部</b> 観光・国際都市部</p>	

#### 4 「国際都市おおた大使」事業の実施 実施計画事業

大使の特技・強みに合わせ様々な分野にわたって活躍する、「国際都市おおた大使」を新設し、「国際都市おおた」推進の担い手とします。

<b>決 算 額</b>	773,638 円	<b>執 行 率</b>	53.44%
<b>主要施策の成果（平成29年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【「国際都市おおた大使」任命】</b></p> <p>○平成28年度から引き続く16人と、平成29年度新規に公募した16人、合わせて32人を「国際都市おおた大使」（愛称：来～る大田区大使）として任命（アメリカ、イタリア、インドネシア、オーストラリア、韓国、スウェーデン、タイ、台湾、中国、ハンガリー、フィリピン、ベトナム、香港、ロシアの14か国・地域出身）しました。</p>			3
<p><b>【大使による「国際都市おおた」の推進】</b></p> <p>○大使は、地域のイベントへの参加や、区が主催する協議会等の委員を務めたほか、小中学校の授業で自国文化を紹介するなど、各自の得意分野で活動するとともに、その活動内容を区ホームページやSNS等を活用して情報発信しました。</p> <p>○各大使との交流会を開催（2回）し、今後の大使の活動内容等について、意見交換を行いました。</p>			/
<p><b>所管部</b> 観光・国際都市部</p>			

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 3

ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 1

ものづくり産業を育み、世界に発信します

## 1 工場の立地・操業環境の整備

### 実施計画事業

「大田区企業立地促進基本計画」に基づき、産業支援施設（賃貸工場、産学連携施設など）の管理・運営を行い、中小企業が事業の拡張や高度化のために行う取り組みに対して、経費の一部を助成することで、工場の立地・操業環境の向上を図ります。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めるとともに、区内への企業立地を促進させるため、企業誘致活動を推進します。中小企業の現状を踏まえた新たな施策を検討するため、製造業の取引実態などを把握する調査を実施します。

決 算 額	559,137,860 円	執 行 率	93.01%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<b>【産業支援施設指定管理者による運営・支援】</b> ○指定管理者が産業支援施設使用者に対し、今以上に質の高いサービスを提供するとともに、適正かつ効率的な運営を行い、工業集積の維持・発展、地域産業の活性化に寄与するよう、モニタリング調査を実施しました。調査の結果、「きちんと履行している」という評価が 100%となり、目標としていた 95%を上回りました。			3
<b>【ものづくり工場立地助成】</b> ○新規申請件数は 16 件、1 年目から 3 年目の交付件数は 37 件でした。 ○ものづくり工場基盤施設整備助成の交付件数は 1 件でした。 ○ものづくり企業立地継続補助金の認定及び交付件数は 5 件でした。 ○研究開発企業等拠点整備助成事業（ファブレス企業等立地助成）は 9 件の照会を受けました。			3
<b>【製造業基本調査・新施策の実施 ー新施策の実施ー】</b> ○区内企業の留置対策として、企業等訪問ヒアリングを実施（158 件）し、拡張・移転意向のある企業に対しては、工場アパートや民間の物件等を紹介しました。 ○区内立地を確実に実現させるため、受け皿となる区内の空き工場・空き事業用地等の不動産情報を調査（80 件）しました。併せて、不動産所有者等に対し製造業系用途への活用を促すため、個別面談等を実施しました。 ○コネクターハブ企業等の受発注構造実態調査を実施しました。 ○地域経済への波及力が大きく成長性が見込まれる企業 18 社が地域未来牽引企業として選定されました。			3
<b>【企業誘致の取り組み推進】</b> ○区外から創業支援施設に 2 件、工場アパートに 3 件、民間施設に 1 件の入居がありました。			3
所管部	産業経済部		

## 2 新製品・新技術開発の支援 実施計画事業

中小企業が新製品・新技術を開発する際に要する経費の一部を助成し、中小企業の技術力、開発力を高める取り組みを支援します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。

中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで、高い技術力を区内外にアピールするとともに、社内の技術力・開発力の向上意欲を高めます。

<b>決 算 額</b>	76,832,535 円	<b>執 行 率</b>	95.29%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【助成金交付】</b> ○区内中小企業の新製品・新技術の開発支援として、42 件の申請を受け、このうち 17 件（開発ステップアップ助成：6 件、実用化製品化助成：11 件）の採択・助成を行いました。			<b>3</b>
<b>【コンクール表彰】</b> ○区内中小企業の優れた開発力・技術力の PR として、32 件の応募を受け、このうち 9 件（最優秀賞 1 件、優秀賞 2 件、奨励賞 2 件、特別賞 4 件）の表彰を決定しました。 ○受賞製品等の特徴・講評を記載したパンフレットの作成・配布、おた工業フェアへの褒賞出展、日刊工業新聞への記事掲載等により、受賞企業の PR を行いました。 ○平成 28 年度受賞企業（8 社）については、希望する全国の展示会へ褒賞出展の機会を提供し、受賞製品等の PR を行いました。			<b>3</b>
<b>所管部</b>	産業経済部		

### 3 取引拡大の支援 実施計画事業

中小企業の取引機会を拡大するため、受発注相談窓口を常時開設するとともに、商談会や大手企業とのマッチング会を開催します。自主展示会の企画運営や国内展示会への出展支援を通じ、中小企業の製品・技術を広く周知するための機会を提供します。

決 算 額	69,047,200 円	執 行 率	93.15%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【受発注相談、商談会の実施】</b></p> <p>○受発注相談窓口において、920 件の相談を受け、192 件の取引成立に結び付けました。</p> <p>○ものづくり商談会を 3 回開催（以下参照）しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズプル型マッチング会（平成 29 年 7 月）※高付加価値案件の開発に特化した商談会 参加企業 19 社 商談件数 23 件 うち商談継続件数 9 件</li> <li>・ものづくり受発注商談会（平成 29 年 9 月） 参加企業 269 社（発注 84 社、受注 185 社） 商談件数 804 件</li> <li>・ものづくり受発注商談会（平成 30 年 2 月） 参加企業 263 社（発注 79 社、受注 184 社） 商談件数 772 件</li> </ul> <p>○ものづくり受発注商談会による取引成立金額は、当初目標 20,000,000 円に対し、78 件 28,370,656 円（7 月 31 日時点）の実績となりました。</p> <p>○区内中小企業の取引拡大のため、延べ 2,325 件の訪問を実施し、区内企業の実態把握を行いながら、163 件（前年 39 件）の区内企業データを登録しました。</p>			3
<p><b>【展示会の開催、出展支援】</b></p> <p>○大田区加工技術展示商談会を実施（出展者数 100 社、来場者数 2,012 人、商談件数 3,619 件、うち取引成立件数 76 件、商談継続件数 555 件）しました。</p> <p>○おおた研究・開発フェアを実施（出展者数 83 社・団体、来場者数 1,745 人、商談件数 5,982 件、うち商談継続件数 653 件）しました。</p> <p>○おおた工業フェアを実施（出展者数 106 社、来場者数 3,071 人、商談件数 3,687 件、うち商談継続件数 447 件）しました。</p> <p>○以下の国内展示会に産業振興協会として出展し、大田区産業の優れた技能・技術を PR し、区外の企業等と区内企業の受注獲得につなげる相談を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 8 回試作市場 2017（相談件数 60 件 成約件数 6 件）</li> <li>・人とくるまのテクノロジー展 2017（相談件数 58 件 成約件数 4 件）</li> <li>・第 21 回機械要素技術展（相談件数 91 件 成約件数 11 件）</li> <li>・北洋銀行ものづくりテクノフェア 2017（相談件数 5 件 成約件数 3 件）</li> <li>・2017 “よい仕事おこし” フェア（相談件数 9 件 成約件数 1 件）</li> <li>・第 12 回ビジネスフェア（さわやか信金）（相談件数 3 件 成約件数 0 件）</li> </ul> <p>○区内企業が独自に展示会出展する費用の一部を助成する「国内見本市出展助成制度」を新たに開始し、区内企業の受注獲得につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回募集：採択 24 件 出展企業 24 社 商談件数 2,869 件 うち商談継続案件 564 件</li> <li>・第 2 回募集：採択 11 件 出展企業 10 社 商談件数 585 件 うち商談継続案件 342 件</li> </ul>			3
所管部	産業経済部		

## 4 海外市場開拓支援 実施計画事業

中小企業の優れた製品や技術を、アジアをはじめ世界に情報発信し、取引拡大につながる海外展開を支援します。特に、医療機器や航空・宇宙等先端分野をリードする欧州への展開に注力することなど、世界中の優れた技術を有する企業との連携・技術交流を強力に進めます。

各企業における海外展開のステップ（基礎知識習得、海外販路開拓、現地法人設立）に応じた支援を行うとともに、諸外国・地域の政府機関、産業関係機関、企業団体との交流を積極的に進め、中小企業に対して海外取引相談、情報提供などの支援を実施します。

<b>決 算 額</b>	20,242,247 円	<b>執 行 率</b>	79.76%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【海外展開支援】</b></p> <p>○海外で開催される展示会に区内企業とともに出展しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会名：COMPAMED 2017（ドイツ） 参加企業 4 社 商談件数 108 件 うち商談継続案件 23 件</li> <li>・展示会名：FBC 上海 2017 ものづくり商談会 参加企業 6 社 商談件数 69 件 うち商談継続案件 26 件</li> </ul> <p>○区内企業が独自に海外の展示会に出展する費用の一部を助成する「海外見本市出展助成制度」を実施し、区内企業の受注獲得につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回募集：採択 7 件 出展企業 7 社 商談件数 281 件 うち商談継続案件 46 件</li> <li>・第 2 回募集：採択 2 件 出展企業 2 社 商談件数 212 件 うち商談継続案件 50 件</li> <li>・第 3 回募集：採択 1 件 出展企業 1 社 商談件数 35 件 うち商談継続案件 4 件</li> </ul>			<b>3</b>
<p><b>【情報提供などの実施】</b></p> <p>○海外取引相談等を実施し、貿易や物流等に関する区内企業の相談内容に対し、産業振興協会窓口や企業現場にて対応しました。また、産業振興協会内部でソリューションを示せない場合には、外部機関やビジネスサポーター事業につなぐ等、ワンストップ窓口として活動しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績 海外取引相談件数 439 件 海外 e コマース事業参加企業 37 社 国際取引あっせん 7 件</li> </ul> <p>○海外市場開拓の一環で商談会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催地：台湾 参加企業 4 社 商談件数 19 件 うち商談継続案件 7 件</li> <li>開催地：タイ 参加企業 6 社 商談件数 23 件 うち商談継続案件 9 件</li> </ul>			<b>3</b>
<b>所管部</b>	産業経済部		

## 5 新市場開拓支援(航空・宇宙、医療・福祉、新エネルギー、環境関連分野など)

大学や病院、研究機関などと中小企業との連携による新市場開拓を支援します。研究機関や先進企業から講師を招き、新技術・新素材に関する講義や技術指導を行うことで、新製品開発への足掛かりをつくとともに、企業間や研究機関などとの共同開発事業に対しては、経費の一部を助成します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。

<b>決 算 額</b>	29,549,185 円	<b>執 行 率</b>	90.58%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【セミナー・講演会などの開催】</b></p> <p>○次世代産業を中心としたセミナーや東京工業大学と連携したセミナー等を、以下のとおり実施（延べ 22 回）し、計 318 人に対して新分野・新市場開拓進出に向けた機会の創出を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京工業大学技術交流セミナー：6 回</li> <li>・切削・研削研究会：11 回</li> <li>・新分野進出セミナー：3 回</li> <li>・医工・看工連携に関するセミナー：2 回</li> </ul> <p>○産業振興協会の主催から自立したマイクロテクスチャ研究会（12 回）への支援として、専門相談員（次世代産業創造コーディネーター）を派遣しました。</p> <p>○区内企業の次世代産業分野での新たな市場開拓を促進するため、イノベーション創出担当相談室を大田区産業プラザ内に新設し、専門相談員による相談及び伴走支援を実施しました。延べ 380 件の相談を受け、8 社が研究・開発による新製品を開発し、47,490,000 円（目標：35,000,000 円）の売上を創出しました。</p>			3
<b>所管部</b>	産業経済部		

## 6 ものづくり人材の育成

ものづくりへの興味・関心を高めるには、若い世代からの取り組みが重要です。小中学生を対象とした、ものづくり実践教室や産業のまちスクールなどの、ものづくりの楽しさを体験できる事業を実施し、将来のものづくり人材を発掘・育成していきます。

中小企業が単独で人材育成を行うには、講師や時間の確保など制約が多いため、教育機関や産業団体などと連携し、講習会への助成やセミナーの開催などにより人材育成を支援します。

決 算 額	20,356,157 円	執 行 率	93.52%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【講座・セミナーなどの開催】</b></p> <p>○次世代のものづくり人材を確保・育成するため、以下のとおり成果に結びつく講座やセミナーを開催し、受講後のアンケートでは、参加者の 95%が「満足」または「ほぼ満足」と回答（目標 80%）しました。</p> <p>&lt;内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術指導講習会（8回、参加者 140人）</li> <li>・次世代経営者育成セミナー（3回、参加者 60人）</li> <li>・新入社員セミナー（1回、参加者 40人）</li> <li>・工業団体実地研修会（12回、日帰り：1団体 16人、宿泊：8団体 155人）</li> <li>・産業団体経営革新支援事業（工業系）講習会（12回、参加者 338人）</li> <li>・産業のまちスクール（2回、参加者 94人）</li> <li>・ものづくり実践教室Ⅰ（1回、参加者 198人）</li> <li>・ものづくり実践教室Ⅱ（1回、参加者 38人）</li> </ul>			3
<p><b>【講習会などへの助成】</b></p> <p>○（一社）大田工業連合会への委託事業として、工業団体が企画した研修会・講習会などへ助成（40回）しました。</p>			3
所管部	産業経済部		

## 7 IoTなどを活用した取引環境の整備

実施計画事業

新規

大田区のものづくり企業の競争力の源泉でもある「仲間まわし」のネットワークを維持、発展するため、IoTなどを活用し、既存ネットワークの体制強化、機能向上をめざすとともに、試作開発案件等のニーズとのマッチングを促進する環境を構築します。

<b>決算額</b>	115,092,880 円	<b>執行率</b>	99.99%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【IoT 仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト】</b></p> <p>○区内製造業による価値創出型ものづくりの実現をめざし、区内先進企業（8 社）に対するヒアリング調査と分析を行い、仕組みづくりに必要とされる要素の研究を行いました。</p> <p>○IoT を用いた効果的な仲間まわしプロセスを構築するべく、IoT ツールや管理ルールの有用性、工程管理・実績把握の方法等の検証を目的としたパイロット案件を創出し、20 社が取り組みに参加しました。</p> <p>○区内企業による、自律的な IoT 仲間まわしを推進する仕組みづくりとして、コンソーシアムのコンセプトを明確化し、必要な機能を検討しました。また本検討を踏まえ、コンソーシアムの立ち上げにかかる、翌年度の実行計画を策定しました。</p>			
<p><b>【大田区プロトタイプセンターの整備に向けた取り組み】</b></p> <p>○東京工業大学との連携を通じ、試作開発の拠点となるプロトタイプセンターの実証実験を行いました。</p> <p>○区内企業のビジネス創出に寄与するために、プロトタイプセンターに求められる機能と実現方策について、「試作開発テーマの発掘」、「区内企業とのマッチング及びプロジェクトチーム組成」などのフェーズに整理し、検討しました。</p> <p>○大田区地方創生加速化交付金事業効果検証委員会による検証を行い、「IoT による仲間まわし」とプロトタイプセンターの発展的統合について検討しました。</p>			
<b>所管部</b>	産業経済部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 3

ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 2

くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

## 1 商店街景観整備事業 実施計画事業

商店街関係者のほかに地域住民、コンサルタントなどで協議会を組織し、地域における商店街の役割の見直しを検討します。まちづくりの一環として地域特性を活かした商店街の景観整備を行い、来街者の周遊、回遊を促す基盤をつくります。

決 算 額	3,450,560 円	執 行 率	55.83%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【候補地 協議会設立、実施計画検討】</b></p> <p>○昨年度、先行実施が見込める候補地として位置付けたもののうち、洗足池商店街、田園調布商店街、蒲田東口商店街の協議会が発足しました。</p> <p>○洗足池商店街、蒲田東口商店街は事業計画の策定に向けた検討を進めました。</p> <p>○田園調布商店街は事業計画を策定し、平成 30 年度から装飾灯整備事業に取り組むこととなりました。</p>			/
<p><b>【他の候補地の検討及び選定、計画策定】</b></p> <p>○各商店街の意向を確認しながら、整備すべき事項、整備可能な事項の洗い出しを行い、景観整備の必要性、整備の手法、協議会発足の是非について検討を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいで通り糀谷商店街</li> <li>・糀谷商店街振興組合</li> <li>・羽田商店街振興組合</li> <li>・穴守ふれあい通りサンサン会</li> </ul>			3
所管部	産業経済部		

## 2 ふれあい商店街事業

商店街会館や空き店舗などを活用して、商店街内に新たなコミュニティ空間となる、お休み処・トイレなどを整備します。

提供する商店街に費用の一部を助成することにより、円滑な運営に加え、地域コミュニティや商店街活性化も含めた活用を支援します。

<b>決 算 額</b>	4,380,000 円	<b>執 行 率</b>	35.49%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【実施商店街】</b> ○以下の 8 商店街で、お休み処の維持、整備を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長原商店街振興組合</li> <li>・雑色商店街振興組合</li> <li>・矢口の渡商店街</li> <li>・日の出銀座商店街振興組合</li> <li>・梅屋敷東通り商店街振興組合</li> <li>・大森柳本通り商店街振興組合</li> <li>・水門通り商店街振興組合</li> <li>・久が原銀座商店街振興組合</li> </ul> ○平成 30 年度の開設を目指し、新たに 2 商店街が整備に取り組みました。			3
<b>所管部</b>	産業経済部		

## 3 商店街イベント・機能向上の支援

商店街が単独で行うイベント事業や複数の商店街が合同で行う広域事業、商店街の機能を向上するための事業に対し、経費の一部を助成することにより、商店街の活性化を促すとともに地域の核としての商店街の機能を充実させます。

<b>決 算 額</b>	169,380,976 円	<b>執 行 率</b>	82.86%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【商店街への助成事業実施】</b> ○助成金交付確定件数は以下のとおりでした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区新・元気を出せ！商店街事業：135 件</li> <li>・商店街活性化テーマ別選択事業：44 件</li> </ul>			3
<b>所管部</b>	産業経済部		

#### 4 おおた商い観光展の開催

区内の商店・企業・団体を中心に、「商い・観光・匠」といった大田区の魅力を多くの来場者に紹介する展示会として開催します。区内の観光情報の発信や逸品認定を行い、「大田区の観光資源」を全国に向けて発信します。

<b>決算額</b>	16,208,072 円	<b>執行率</b>	100.00%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【おおた商い観光展の開催】</b> ○10月14日から15日の2日間で、128事業者・団体が出展、9,125人が来場しました。 ○周辺で同時に開催されたイベント（5つ）と連携し、各会場をつなぐウォーキングラリーを併せて実施することで相乗効果を生み出し、更なる誘客を図りました。 ○区内高校（蒲田女子高校、大田桜台高校等）と連携し、イベントを通じた商い・地域交流の体験機会を設けることで、区内産業の担い手となる次世代人材の育成を行いました。 ○出展者を対象に、展示会における販売戦略策定セミナーを開催しました（3回開催、延べ24人参加）。また、展示会後の販売促進を目的としたセミナーも開催（23人参加）し、更なる売上向上に寄与する支援を行いました。			3
<b>所管部</b>	観光・国際都市部、産業経済部		

#### 5 空き店舗を活用した活性化支援

商店街の空き店舗の実態を把握し、空き情報を広く発信するとともに、空き店舗を活用した取り組みを支援します。

<b>決算額</b>	215,210 円	<b>執行率</b>	61.14%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【空き店舗を活用した創業支援の実施】</b> ○空き店舗を活用し、商店街のにぎわい創出につながるよう、東京都の「商店街空き店舗活用事業」について、区内の商店街に情報提供しました。 ○3月に空き店舗見学を含めた「大田区個店・商店街見学&勉強会」を実施し、大田区での創業を目指す15人が参加しました。			3
<b>所管部</b>	産業経済部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 3

ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 3

ビジネスがしやすいまち大田区をつくります

## 1 創業支援 実施計画事業

新たに区内で立地を希望する創業者への支援にハード・ソフト両面から取り組みます。創業支援施設の活用をはじめ、窓口相談、優秀な創業者を発掘するコンテストの開催などにより、創業者が立地・事業展開しやすい環境をつくります。

決算額	13,135,124 円	執行率	84.83%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
【創業支援施設入居者の立地促進】 ○創業支援施設の 1 年間の平均使用率は 70.1%（オフィス 78.1%、シェアードオフィス 46.3%）となりました。			3
【創業者支援相談の実施】 ○相談件数は延べ 1,104 件（月平均 92 件）となり、目標としていた月延べ 20 件以上を大きく上回りました。 ○相談を受けたもののうち、23 件の創業が実現しました。 ○創業塾を開催し、創業の心構え等を学ぶ座学セミナー（1 回）、事業計画の作成等を学ぶゼミ型セミナー（全 5 回のカリキュラム）を実施しました。 ○延べ受講者 150 人のうち 3 人に対して、産業競争力強化法に基づき、特定創業支援事業の証明書を発行しました。			4
【ビジネスプランコンテストの開催】 ○区内における次世代産業分野での創業を促進するため、IoT、ICT 及びデジタルの各分野のコンテンツを設けて募集を行いました。 ○ポスター・チラシ、産業振興協会のホームページや新聞広告等による広報を行い、42 件の応募から、9 件の表彰（最優秀賞 1 件、優秀賞 1 件、協賛先特別賞 7 件）を決定しました。 ○表彰式では受賞者によるプレゼンテーションの実施、協賛先への入賞パンフレットの配布等を行い、受賞プランの実用化につながるよう PR を行いました。			3
所管部	産業経済部		

## 2 ネットワーク形成支援 実施計画事業

中小企業が新事業展開に向けて構築する新たなネットワークの形成を促進するため、必要な経費の一部を助成します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。ネットワーク形成を促すため、セミナーや講演会などを開催します。

<b>決算額</b>	2,714,000 円	<b>執行率</b>	60.31%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【新事業活動助成金の交付】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中小企業の新たなネットワーク形成による新事業展開を促進するため、産業クラスターの形成・創出に資する活動を新たに助成対象に加え、助成を実施しました。</li> <li>○区内関係団体と連携した PR を実施し、周知活動強化に努め、17 件の申請を受け付けました。このうち 10 件を採択し助成金を交付しました。</li> <li>○当該助成金の交付を受けた医療機器製造企業 2 社に、文京区・川崎市と連携した医療機器販売のイベントへの参加機会を提供し、企業間ネットワークの構築を図りました。</li> </ul>			3
<b>所管部</b>	産業経済部		

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 3	ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
施策 4	大田区の観光を世界に発信します

## 1 訪日外国人等受入環境整備 実施計画事業

増加が見込まれる来訪者を、区内への誘客及び回遊につなげ、大田区ならではの「おもてなし」を提供できるように、来訪者受入環境の整備を進めます。

決算額	56,527,497 円	執行率	96.71%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【ウェルカムショップ制度の推進】【まちかど観光案内所制度の推進】</b> ○24 時間多言語コールセンターの運営を開始しました。（電話通訳：38 件 翻訳サービス：64 件） ○多言語コールセンター説明会及び外国人旅行者等受入対応セミナーを計 4 回実施しました。（参加者数：67 人） ○大田区観光情報センタースタッフによる「外国語対応ヘルプデスク」を開設しました。（利用件数：5 件）			3
<b>【外国人等「おもてなし」事業化】</b> ○大田区観光情報センターにおいて、おおたの魅力発信をテーマとした様々なイベントの毎月実施や、区内で開催されるイベント等への出展・資料提供を実施（合計 38 回）しました。 ○羽田空港国際線ターミナル大田区観光情報コーナーにおいて、毎週木曜日、大田区観光情報センタースタッフによるセンターの PR 活動を実施しました。 ○大田区観光情報センター・ウェルカムショップ・まちかど観光案内所が連携し、大田区観光情報センターにおいて、おもてなし外国語講座を実施しました。			3
<b>【国内外の来訪者の宿泊や活動、交流を支援する「おもてなし」の場の創出】</b> ○大田区観光情報センター、羽田空港国際線旅客ターミナル大田区観光情報コーナー等において、観光情報の提供を行いました。 ○大田区観光情報センターにおいて、日本文化体験等を実施しました。 ・大田区観光情報センター観光相談件数：3,610 件（うち外国人 1,283 件） ・大田区観光情報センター文化体験利用者数：753 人（うち外国人 619 人） ・大田区観光情報センターおもてなし外国語講座 24 回実施 参加者数：200 人			3

<b>【MICE と連携した外国人等受入環境整備の検討（総合案内機能の整備など）】</b> ○大田区観光情報センターの利用者実績等は以下のとおりでした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数：68,874 人（うち外国人 2,450 人）</li> <li>・観光相談件数：3,610 件（うち外国人 1,283 件）</li> <li>・文化体験利用者数：753 人（うち外国人 619 人）</li> </ul> ○区内の団体等と連携し、地域の魅力を発信するイベントを 38 回実施しました。 ○大田区観光情報センターに、主催者・参加者等に対する観光案内や文化体験の提供等を行う支援機能を組み入れました。当初想定したワンストップ窓口機能は、区における MICE 推進の目指すべき方向、取組内容等を具体化する際、その規模・求められる内容に応じ機能化（設置）することが持続的・実効的であるため、見送ることとしました。		3
<b>所管部</b>	観光・国際都市部	

※【ウェルカムショップ制度の推進】と【まちかど観光案内所制度の推進】、【国内外の来訪者の宿泊や活動、交流を支援する「おもてなし」の場の創出】と【MICE と連携した外国人等受入環境整備の検討（総合案内機能の整備など）】は一体的に取り組んだため、主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）については同様の記載となります。

## 2 大田区の産業を活かした観光事業の推進 実施計画事業

世界に誇る大田区のものづくりを新たな観光資源として位置づけ、食・グルメや商店街、銭湯、文化などと組み合わせることにより、「オール大田」の産業の魅力の有機的に創出します。

<b>決算額</b>	33,324,906 円	<b>執行率</b>	100.00%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<b>【食や銭湯など大田区の産業を活かした周遊・回遊・イベントの実施】</b> ○大田区観光推進連絡協議会として、区を PR する観光ポスターを作成し、同ポスターを活用したプロモーション活動を行いました。また、羽田空港を起点とした情報発信事業として、羽田空港国際線ターミナルにおいて、「Discover the real Japan: Visit Ota」を開催し、主に空港利用者（外国人）をターゲットに、銭湯グッズ抽選会、和菓子作り体験（区内和菓子店協力）等、区への来訪契機づくり、区の認知度向上等の PR 活動を行いました。 ○大田の観光にぎわい創出事業補助金において、「新たな水辺のにぎわいを創出する事業」3 団体、「新たな地域のにぎわいを創出する事業」3 団体に対し補助を行い、それぞれの団体が商店街や町工場と連携した地域回遊イベントを実施しました。			3
<b>【産業を活かした観光拠点の推進】</b> <くりらぼ多摩川> ○週 2 回定期開催のオープン DAY では 2,493 人（28 年度 1,673 人）、町工 BAR では 106 人（計 4 回）の参加があり、その他のワークショップ・イベント等の開催も含め、積極的な活動を行いました。 <オープンファクトリー> ○商店街との連携、工場アパート管理者の参画、墨田区における「スミファ」との相互支援など、区内外の連携体制を充実させることにより、約 4,000 人（過去最大）が本イベントに参加しました。			3
<b>【産業観光に関わる受け入れ整備の推進】</b> ○大田の観光にぎわい創出事業補助金の「産業観光受入環境整備事業」において、12 団体（企業）に対し、工場見学受入のための体制整備に係る事業経費の一部を補助しました。			3
<b>所管部</b>	観光・国際都市部、産業経済部		

### 3 地域・事業者と連携したにぎわい創出

### 実施計画事業

羽田空港・鉄道などの事業者や、団体・NPO、他自治体との連携を推進することにより、来訪者にきめ細やかな「おもてなし」を提供するとともに、「にぎわい」を創出します。

決 算 額	38,698,713 円	執 行 率	98.77%
主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）			進捗状況
<p><b>【自治体間広域連携の推進（川崎市、品川区など）】</b></p> <p>○川崎市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽田空港・川崎工場夜景クルーズ（参加者総数 200 人）を実施し、両区市のお土産品及びお食事割引クーポンの配付、大田区名産品の物販等を行いました。</li> <li>・両区市内の映画ロケ地を巡る、映画シン・ゴジラバスツアー（参加者総数 74 人）を実施しました。</li> </ul> <p>○品川区との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（一社）大田観光協会・（一社）しながわ観光協会の連携により、東海道浮世絵スタンプラリー（参加者 701 人）と東海道おたのしみウォーク（参加者 280 人）を実施しました。</li> </ul>			3
<p><b>【観光まちづくり団体などへの支援】</b></p> <p>○（一社）大田観光協会が実施する「蒲田映画祭」、「商い観光展」への出展、水辺の賑わい事業（シーカヤックツーリング等）など、観光まちづくりに資する事業への支援を行いました。</p>			3
<p><b>【観光推進連絡協議会の推進】</b></p> <p>○事業の方向性や内容の検討等にあたり、全体会議及び3つの専門部会（空港連携部会、観光回遊促進部会、水辺活性化部会）を開催しました。</p> <p>○第1回全体会議において『大田区のまちづくり ～「都市づくりビジョン」を中心に～』、第2回全体会議において「東京の MICE 誘致施策と MICE 受入拠点支援制度について」の講話を行い、意見交換を実施しました。</p> <p>○第3回全体会議に合わせ、MICE 勉強会を開催し、『大田区「観光」の現状とポテンシャル』について講話を行い、大田区が取り組む MICE 誘致について情報提供のうえ、意見交換を実施しました。</p> <p>○専門部会では、観光ポスターを活用したプロモーションの実施及び羽田空港を起点とした大田区の情報発信について、具体的な内容の検討を行いました。</p> <p>○「HANEDA⇄OTA エンジョイプログラム戦略」に基づく事業（検証作業含む）に取り組み、羽田空港からの近接性など、大田区の強みを区内外に PR しました。</p> <p>＜観光ポスターを活用したプロモーションの実施＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター作成 A 1 版日本語・英語・中国語 各 1,000 枚、A 2 版日本語 200 枚</li> <li>・プロモーション実施 大田区観光情報センター・コーナー、区内観光関連施設等で掲示</li> </ul> <p>＜羽田空港を起点とした大田区の情報発信＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名 称 Discover the Real Japan: Visit Ota</li> <li>・開 催 日 平成 30 年 2 月 11 日（日）・12 日（月・祝）</li> <li>・場 所 羽田空港国際線ターミナル 4 階・5 階（広小路、江戸舞台、E▲D0 Hall）</li> <li>・概 要 和楽器演奏・日本舞踏、着物体験・和菓子作り体験・漫画体験 銭湯グッズ抽選会、写真展示、物品販売等</li> <li>・来場者数 約 16,000 人（2 日間）</li> </ul> <p>＜「HANEDA⇄OTA エンジョイプログラム戦略」に基づく取り組みの検証＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度の取り組みを中心とした効果検証・事業総括</li> </ul>			3

<p><b>【大田区の観光をサポートする人たちと連携したにぎわい創出事業】</b></p> <p>○大田の観光にぎわい創出事業補助金において、「新たな水辺のにぎわいを創出する事業」3団体、「新たな地域のにぎわいを創出する事業」3団体、「産業観光受入環境整備事業」12団体（企業）、計18団体に対し補助を行い、それぞれの団体が商店街や町工場と連携した地域回遊イベントを実施しました。</p> <p>○大田区にゆかりがあり、文化・芸術、芸能、スポーツ等の各界で活躍されている、発信力と訴求力の高い16名の方々に、大田区観光PR特使を再委嘱しました。</p>	3		
<p><b>【地域の魅力を活かした企画展等の実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区立の記念館・博物館等の特別展開催にあわせ、記念館、博物館及び周辺のスイーツ店舗をめぐるスタンプラリーを実施しました。</li> <li>・区内の花の見どころを紹介するマップを制作し、大田区観光情報センター、羽田空港国際線旅客ターミナル等に掲示、チラシを配布しました。</li> </ul>	/		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>所管部</b></td> <td>観光・国際都市部</td> </tr> </table>		<b>所管部</b>	観光・国際都市部
<b>所管部</b>	観光・国際都市部		

#### 4 シティセールス・MICEの推進 実施計画事業

メディアなどを活用して情報発信を行い、大田区の認知度を向上させます。関係機関とMICE推進体制を構築するとともに、MICE見本市に出展するなど、区内のコンベンション施設などをPRします。

<b>決算額</b>	30,656,299 円	<b>執行率</b>	96.93%
<b>主要施策の成果（平成29年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【来～る大田区大使による観光PR】</b></p> <p>○空の日フェスティバルの実行委員会委員や、区内観光・国際交流関連及び地域のイベントに参加する等の活動（36件）を行いました。</p> <p>○全国連携プロジェクト魅力発信イベントのパネリストとして参加し、区長とともに大田区の魅力を区外に発信しました。</p> <p>○活動内容を区ホームページやSNSを活用し、情報発信（Facebook“いいね！”818件）しました。</p>			3
<p><b>【メディアなどを活用した情報発信】</b></p> <p>○Facebook「Visit Ota City」に、区内の魅力的なスポット、区内での楽しみ方について95件投稿しました。</p> <p>○ページいいね！数は7,607件となり、1年で1,201件増加しました。</p> <p>○年間通算リーチ数（閲覧数）は、1,075,288件となりました。</p> <p>○平成28年度に制作した大田区観光PR動画のプロモーションを実施し、合計視聴回数が645,626回となりました。</p> <p>○大田区公式観光サイト（日本語・英語・中国語（繁体・簡体）・韓国語・タイ語・フランス語）に約74件のコンテンツの掲載を完了し、累計約46万件のアクセスがありました。</p>			3

<p><b>【MICE 推進体制の構築】</b></p> <p>○MICE 連絡会として、(公財) 大田区産業振興協会、文化振興課、スポーツ推進課との担当者 打ち合わせを2回開催する等、各取り組みに係る連携及び情報収集の促進を図りました。</p> <p>○庁内関係部局で構成する大田区 MICE 推進庁内検討会議を設置し、区における MICE 推進の 取り組みの方向性について検討を行いました。</p> <p>○大田区 MICE 推進庁内検討会議を3回開催し、区における MICE 推進の目指すべき方向、今 後の取組内容等として、「大田区らしい MICE の確立に向けて ～ 当面の取組の方向性等～」 を取りまとめました。</p> <p>○大田区観光推進連絡協議会において、MICE 勉強会を開催し、意見交換を行いました。</p> <p>○大田区観光情報センターにおいて、主催者・参加者等に対する観光案内や文化体験の提供 等を行う支援機能を組み入れました。当初想定したワンストップ窓口機能は、区における MICE 推進の目指すべき方向、取組内容等を具体化する際、その規模・求められる内容に応じ 機能化(設置)することが持続的・実効的であるため、見送りました。</p>	3
<p><b>【MICE 見本市の出展】</b></p> <p>○MICE 見本市である「国際 MICE エキスポ」について、開催形態が見本市から商談会に変更さ れたことで、現状の体制では出展料に見合う成果が見込めず、費用対効果が低いと判断し、 出展を見送りました。</p>	3
<p><b>【調査・計画策定】</b></p> <p>○今後の観光施策の方向性の検討に資することを目的として、大田区観光統計・マーケティ ング調査を実施し、区内来訪者、区内観光施設及び宿泊施設等の特性や傾向など、実態の 把握及び分析を行いました。</p>	/
<p><b>所管部</b> 観光・国際都市部</p>	

## 5 インバウンド誘致の推進

外国人旅行者を大田区に呼び込むため、事業者や他自治体などと連携して、海外の旅行博覧会での情報発信や、海外旅行会社の招請、メディアを活用した海外における情報発信などを行います。

決 算 額	1,361,059 円	執 行 率	100.00%
主要施策の成果(平成29年度の取り組み内容)			進捗 状況
<p><b>【海外の旅行会社・メディアなどに対する情報発信】</b></p> <p>○ビジット・ジャパン地方連携事業で海外メディア関係者(タイ・台湾)を招請(合計8名) しました。大田区内のスポットを紹介し、タイ・台湾のメディアに掲載(合計14件)され ました。</p>			3
<p><b>【海外の旅行博での情報発信】</b></p> <p>○ビジット・ジャパン地方連携事業で近隣自治体・交通事業者等と連携し、タイ・バンコク、 台湾・台北の海外旅行博に出展しました。現地旅行者に継続的に情報発信できる Facebook 「Visit Ota City」を活用し、タイでは611件、台湾では100件の「いいね!」を獲得し ました。</p>			3
<p><b>【観光まちづくり団体などとのインバウンド推進体制の構築】</b></p> <p>○(一社)大田観光協会による観光ガイド育成事業において、定例会(月3回)へ出席し、定 期的に意見交換・アドバイスを実施しました。</p> <p>○外国語ボランティアガイドが実施するイベントの企画相談、実施協力を行いました。</p>			3
<p><b>所管部</b> 観光・国際都市部</p>			

## 6 大田区の特選品・グルメのPR

実施計画事業

新規

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、大田区のPRの一環として、新たに「大田のお土産」を選定し、観光情報コーナーや各種展示会などを通じて国内外に広くPRすることで、地域経済の活性化とにぎわいの創出につなげます。

<b>決算額</b>	7,504,715 円	<b>執行率</b>	97.16%
<b>主要施策の成果（平成 29 年度の取り組み内容）</b>			<b>進捗状況</b>
<p><b>【大田のお土産 100 選表彰】</b></p> <p>○応募 41 件のうち 26 件の表彰を決定し、「おおた商い・観光展 2017」で表彰式を行いました。 （内訳）</p> <p>    <b>【応募】</b> ものづくり部門：14 件 食品部門：27 件</p> <p>    <b>【表彰】</b> ものづくり部門：7 件 食品部門：19 件</p> <p>○表彰後のPR・販路拡大支援として、以下のプロモーションを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区観光情報センターやOTAふれあいフェスタで表彰製品・商品の展示、販売</li> <li>・東急電鉄、京急電鉄等の公共交通機関に広告</li> <li>・区施設（特別出張所、図書館等）、東急電鉄駅構内、宿泊施設、商店街お休み処等における紹介パンフレットの配布</li> <li>・東急電鉄イベント「きになる電車」における車両広告（東急池上線及び多摩川線の1車両で全面広告）</li> </ul>			
<b>所管部</b>	産業経済部		